

東堂陽一
議会便り 第20号(2-13)
平成20年 4月 26日発行

今号の内容

1. 南北道路の進捗状況
1. 議員定数の削減を提言
2. 平成20年度予算
3. 活発な論戦を展開?
4. 写真でみる最近の話題
5. 卒業式・入学式

- 1) 市役所職員も削減しているなど、行政改革の観点から
 - 2) 類似他市より議員数が多い
 - 3) 地域代表でなく市全体を見ることのできる高いレベルの議員を期待
 - 4) 世論が削減を望んでいる
- ことが述べられています。

また、課題としては、住民自治がしっかり確立される必要がある、ことなどが挙げられています。
慎重論もあったが、委員会としては、「議員定数を削減すること」を提言しました。
新しい定数については24人が妥当であるとの意見が多くを占めました。

南北道路の進捗状況

静岡県と掛川市では、旧1市2町の市街地を結ぶ道路(延長 約16km)の整備を進めています。その一部を紹介します。合併から10年後の平成26年度までに完了の予定です。

■上内田・佐束

- ・3月25日に、農道掛川高瀬線が開通しました。さらに走りやすい道路になるように改良設計を進めます(写真)。
- ・岩井寺～高瀬では、新しい市道の設計を進めています。
- ・結縁寺インター～花鳥園でも道路改良を検討しています。



■上内田・入山瀬・西大谷

- ・西大谷トンネル西～西大谷で県道の拡幅、橋の架け替えを進めています。3kmの内1kmが開通しました(写真)。
- ・西大谷トンネル東～風吹バイパスをつなぐ新しい市道の設計を進めています
- ・子隣～岩井寺の狭い県道の拡幅工事がまもなくはじまります。



議員定数の削減を提言

議会活性化特別委員会の報告

住民参加の「開かれた議会、わかりやすい議会」を目指し、委員会の数や協議会のあり方、本会議での一般質問、政務調査費および議員定数などについての議論

・検討がされました。
議員定数については、一番時間を要し、削減をすべきとの意見が多く出された。その理由としては、

平成20年度予算を審議しました

1. 予算編成の基本方針は

- (1) 新市建設計画事業の推進
- (2) 少子化対策・子育て支援、交通安全・防犯・防災面の施策の充実
- (3) 公債費負担適正化計画に基づく債務管理の徹底
- (4) 新病院建設基金を設立
- (5) 職員定数の見直し、行政改革の推進による経費削減

となっています。次に、少し見づらいかもかもしれませんが、主な歳出を記してみます。

2. 主な歳出(全体)

	金額(万円)	(ミニ解説)
・掛川東高跡地整備	22,985	総合福祉施設になる
・市議会中継システム導入	4,850	インターネット中継
・妊婦健康診査委託料	3,720	公費負担2回から5回へ
・乳幼児(子ども)医療助成	30,569	新たに小6まで入院無料
・病院建設基金積立金	30,000	5年で15億円積立予定
・静岡空港対策費	50	来年4月開港
・合併推進道路整備事業	79,764	南北道路整備
・西循環バス準備経費	717	和田岡・曾我・病院循環

3. 主な歳出(桜木関連)

	金額(万円)	(ミニ解説)
・浄化槽市町村設置工事費	16,476	上垂木40基、全市で140基
・杉谷家代線整備	5,500	白泉寺橋～静銀交差点
・桜木中横断線改良	13,600	主に細谷工区
・急傾斜地対策負担金	680	宇洞地区他、県工事負担分
・家代宇洞地籍調査	2,161	
・桜木小校舎補強	22,444	耐震工事他を行います
・桜が丘中体育館解体	4,420	旧体育館を撤去します
・消防ポンプ車購入	3,350	桜木西分団、曾我分団

活発な論戦を展開？（一般質問）

（質問のねらい）

掛川市の財政は実質公債費比率が18%を越え、慎重な運営が求められる状態です。20年度予算案の発表を機に、予算の方向性・財政健全化・懸案事項などについて質問しました。



20年3月11日登壇 翌日の静岡新聞に「活発な論戦を展開」と評される。

（通告要旨：一部省略してあります）

1. 平成20年度予算に関連して

（1）基本方針について

- ① 新市建設計画事業の進捗はどの程度になるか。未実施のものも含めて、具体的に何う。また、この進捗状況をどう捉えているか
- ② 少子化対策、子育て支援策の充実内容を問う
- ③ 行政改革の推進により期待できる経費削減見込み額は
- ④ 各種基金に対する積立額の考え方と今後の展開について何う

（2）財政健全化について

- ① 「公債費負担適正化計画」、「財政計画」との整合性について何う
- ② 健全化判断比率はどうなるか

（3）懸念される事項について

- ① 病院事業会計は多額の赤字予算であり、国民健康保険特別会計の税率の引き上げもこれ以上は厳しいものがある。来年度以降もさらなる赤字拡大、財源不足が懸念される。対策はあるのか
- ② インフラ整備の遅れが心配される。どのように対処していくか

2. 組織機構について

- （1）対策本部等が乱立ではないか。業務に支障をきたさないか
- （2）従来の組織では対応しきれなくなっているのであれば、組織の抜本的な再編等を検討する必要があるのではないか

（質問を終えて）

総額800億円にもなる掛川市の予算。全体の理解も財政状況判断も簡単ではありませんが、血税から成っていることを忘れずに議論していきたいと思えます。

写真でみる最近の話題（1月～3月）



出初式（1月4日、三の丸広場） 防災ヘリの訓練



風力発電視察（1月17日、愛知県田原市）
立ち並ぶ大型風車



柏崎刈羽原発視察（1月29日）



女性会議本会議（2月4日）
参考になりました



ふじかわ聖苑視察（2月29日、南アルプス市）
ホテルの様な通路



さやのもり竣工（3月6日、長谷）
5番目の幼保園



さやのもりの子ども用トイレ（小さい）



4 大須賀市民交流センター竣工（3月17日）

写真でみる卒業式・入学式



掛川子ども園卒園式(3月15日)



くるみ幼稚園卒園式(3月18日) カメラが一杯



桜木小学校卒業式(3月19日)



桜が丘中学校卒業式(3月19日)
答辞と記念合唱



桜木保育園卒園式(3月22日) 上手に出来ました



桜木小学校入学式(4月4日)
2年生による歓迎アトラクション



桜が丘中学校入学式(4月7日) 緊張の面持ち



掛川城と満開の桜(4月5日)

